

「苦しみは優しさの母」

仙北市長

門脇 光浩

以前のお話です。ひとり暮らしのお婆ちゃんから電話をいただきました。「屋根の上につもった雪が恐くて…。風で家がきしむし、つぶれると思うと眠れぬ」。そこで知っている人に連絡し、雪おろしをしてもらいました。後でかかってきたお婆ちゃんの電話は「ありがとう。アンタも風邪ひくな」でした。今年は、誰か雪おろしをしていてくれるでしょうか。

またある家族の悩み。「痴ほうが進んで、雪の中を裸足で出かけるお婆ちゃんに、ホトホト困ってしまつた」。大変さが目に浮かびます。そうなれば、止めることはまず無理です。「オラの婆ちゃんなんか、雪の中、クワ持って畑仕事に出かけて行ってたぞ」と、笑い話をしてから、「できるんだつたら施設でお世話になった方がイイ。婆ちゃんにとつても家族にとつてもな」と。

人様の苦しみを理解できるかと

うかは、自身の苦しみの体験量に比例すると思っています。だから苦しみは優しさの母だと、最近になつて確信を深めました。

子どもの不慮の事故死で自分を責め続けるお母さん、お酒を絶てない父親の暴力に立ち向かう兄弟、学校に行かなければと思つていても体が動かない高校生…。

仕事ながら、いろんな方からご相談を受けます。ところが残念なことに、まだまだ自分は経験不足（能力不足）で、適切なアドバイスができません。さらに市役所や病院に、やつとの思いで相談をしたところ、解決どころか、逆に心が傷ついたとお手紙やメールもたまにいただきます。だいたい匿名さんなので、広報の紙面をお借りし、お詫びを申し上げる他ありません。少しでも人様の苦しみが分かる市役所になれるよう、職員と一緒に努力を続けます。

仙北市女性消防団員によるコラム

がんばる！ 女性消防団

平成23年仙北市消防出初式

1月6日に平成23年仙北市消防出初式が行われました。佐竹敬久秋田県知事をはじめ、多くの方にご出席いただき、本当に有難うございました。

今年は、町村合併後初めて、角館町の武家屋敷から角館交流センターまで分列行進を行いました。

あいにくの天候にもかかわらず

今回は…橋本由佳乃さん



らず、沿道よりたくさんの方から、暖かいご声援をいただき、感謝申し上げます。

地域の方々と交流する機会が少ない女性消防団にとつて素敵な時間を過ごす事ができました。そして、今回の出初式を見て「消防団に入団したい」と、少しでも関心を持つていただける方がいれば幸いです。

平成22年中には、「自分たちの町は自分たちで守る」という熱い気持ちを持った28人の方が新しく仙北市消防団に入団されました。また、昨年、隣の大仙市にも女性消防団が創設され、女性消防団としての責務の重大さを再認識しているところです。今後は「防火・防災」のキャンペーンや地域の催し物等に参加し、より一層の交流ができたらし思います。

